

スマート自治体・シティの推進を

無所属
こうだ ながあき
香田 永明



岡本理事 計画的に実施している



▲スマート自治体・スマートシティ

問 スマート自治体・スマートシティをどのよう
に計画し実行するのか。
答 「第5次播磨町総合
計画」に掲げられた施策
の一つである「持続可能
な行財政運営を進めるま
ちづくり」というビジョ
ンを達成するため、様々
な事業を実施している。
電子自治体推進事業の
実施により、スマート自
治体およびスマートシテ
ィの推進が図られると考
えている。

問 スマート自治体推進
の重要な施策の一つに働
き方改革がある。ペーパ
ーレス化・テレワーク活
用などがあるが、職員、
議会にタブレットを支給
し、ペーパーレス化を進
めるべきと考えるが。
答 職員に一人一台配
備しているパソコンを活
用する。タブレットにつ
いては検討するが、議
会でも検討していただ
きたい。
問 職員の働き方改革の
一環として、コワーキン
グスペースやサテライト
オフィスなどの設置は。
答 緊急事態宣言発令時
は、中央公民館にサテ
ライトオフィスを開設し
た。少ない職員数で行
政運営を今以上に保つ
ことが、スマート自治
体を推進する目的であ
る。また、スマートシ
ティは住民の生活の質
の向上を目指すもので
ある。職員にも住民に
もわかりやすいロード
マップを作り、計画的
に推進を進めるべき
では。



無所属
おおきた よしこ
大北 良子

今後の不登校支援策は

教育長 ふれあいルームで継続支援



▲第2庁舎3階のふれあいルーム

問 不登校の児童生徒数
はコロナ禍で過去最多
となり、その理由は複
雑化している。ふれあ
いルームに通う児童生
徒やその保護者からの
希望で、形式が変わ
ったことは。
答 児童生徒の悩み
や困難さは多種多様
で、柔軟に対応して
いくことを求めら
れている。今後も対
応を継続する。

問 多様な不登校の
現実を踏まえた今後の
ふれあいルームの対
応は。
答 今後も、利用者
や保護者のニーズを
踏まえて対応して
いきたい。

学生団員の認証を
岡本理事 分団幹部から
相談があれば検討

問 行政で支援しきれ
ない部分について、民
間の支援やアドバイザー
などの検討は。
答 民間のサポート
施設などを活用し、多
くの選択肢があるこ
とが望ましいと考
える。

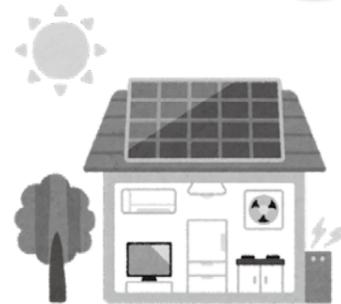
問 本町に大学がなく、
活用は難しい。分団
幹部から相談があれば
検討したい。
答 週に2回、町内
巡回をしている青パ
トの日数や時間を増
やすことで、抑止
できる犯罪もある
と考える。今後の見
直しは。
問 加古川市と協
議中だが、来年度は
現行の頻度で実施
する。

脱炭素社会への取り組みは

日本共産党
のぎた ともみ
野北 知見



藤原理事 ゼロカーボンを目指す



▲再生可能エネルギーの利用を

問 本年開催されたCO
P26において、産業革
命前からの気温上昇を
1.5度以下に抑えるこ
とが目標となった。2
050年までに温室効
果ガス削減を達成す
る目標を掲げ、再生可
能エネルギーの活用
を推進している。再生
可能エネルギーの活用
を推進している。再生
可能エネルギーの活用
を推進している。

問 再生可能エネルギー
の活用を促進する
ためには、再生可能
エネルギーの活用を
促進する必要がある
と考えるが、再生可
能エネルギーの活用
を促進する。再生可
能エネルギーの活用
を促進する。

町内のPCR検査は
藤原理事 はりま病院
で実施

問 今後のコロナウ
イルス感染症対策
として、町内で6
医療機関が県ホ
ームページで公表
されているが、検査
方法は公表されて
いない。
答 はりま病院で
実施されている。
問 発熱等・検査医
療機関として、町
内で6医療機関が
公表されているが、
検査方法は公表
されていない。



政風会
ふじわら しゅうさく
藤原 秀策

下水道工事の現状は

高見理事 市街化区域はおおむね供用済



▲下水道工事の現場

問 下水道工事ができ
ない地区はあるのか。
答 市街化区域は、お
おむね供用開始区
域となっているが、
私道など一部の工
事が困難な場所が
ある。
問 土山駅北地区の
下水道布設工事は。
答 主要な町道では
汚水管は整備され
ている。駅北整備
計画が決定されて
いない道路位置
での汚水管整備
では、重複投資を
避けるべきと考
え、布設を見送
っている。
問 令和2年度の
接続戸数は。
答 新設工事は26
1件、改造工事に
よる接続は31
件である。

ソウプ池の常時貯水は
長谷川理事 一定水位を
保ち管理

問 下水道法では、接
続可能な地域では接
続義務が課せられて
いる。接続依頼の
方法は。
答 文書や訪問によ
り依頼を行っている。
問 未接続の主な理
由は。
答 空き家状態で居
住の見込みがないこ
とや、家屋の老朽化
による建て替えを
検討していること
などが主な理由
である。

問 地盤改良による環
境改善や堤体の改修
などを行い、良好な
自然環境の保全に
努めること。あ
ったが、雑草の繁
茂により近隣住民
に迷惑をかけて
いる。一つの案
として常時水を
貯めておくという
考えは。
答 野添水利組合
によると、今後は、
台風期や稲の収穫
後の時期を除き、
一定の水位を保
つよう管理する
予定である。